

ミニグループディスカッション1ではPCIトラブルシューティングということで、僕たちのグループは小倉記念病院で行われたPCI中に生じた解離という貴重な症例についてミニグループディスカッションを行いました。右冠動脈(#3)の狭窄にPCIを施行された症例で、ガイディングカテーテルがかからずガイドワイヤーを先行させてカテーテルをかけて造影をしたところ解離(上行大動脈まで)を生じたそうです。

まず、こういう合併症を起こさないためにはどのように対処すべきかということで、以下のようなディスカッションを行いました。

ガイディングカテーテルがかからないときはカテーテルを替えてみる。

ガイドワイヤーが途中で進まなくなったときは偽腔に入っていることを疑う。

圧波形を確認して造影をする。

また、実際にこのような合併症がおきてしまったときにはどうするかということで、以下のようなディスカッションを行いました。

できるだけたくさんの人を集める。

心臓外科に連絡する。

ディスカッションではPCIを完結させるいい案はでませんでした。

ちなみに小倉記念病院では、偽腔にIVUSを挿入しflowをおとすことで、真腔にガイドワイヤーを挿入することができ、末梢からステント留置し事なきを得たそうです。また、上行大動脈の解離は経過観察で改善したそうです。

貴重な症例を提示していただき、自分が同じ症例を経験したかのような時間を過ごすことができました。今後自分が同様の手技を行う際に、同じ過ちを起こさないよう気をつけたいと思います。